

# 「景気動向に関するアンケート調査」報告書

令和 8 年 3 月

## 【調査趣旨】

神栖市商工会会員事業所の現状把握および今後の支援策について検討することを目的とする。

## 【調査概要】

調査時期:2025 年 10 月~12 月

調査対象:商工会会員事業所等

調査方法:窓口・FAX

回答数:140 件

## 【今回調査の業種別 DI】(令和 7 年 10~12 月を令和 7 年 7~9 月と比較)

<R7.10-12月>

単位:%

項目\業種	全業種	製造業	小売業	建設業	卸売業	サービス業
3. 景況感	△ 25.0	△ 37.5	△ 20.0	△ 19.0	△ 25.0	△ 28.8
4. 売上	△ 21.4	△ 33.4	5.0	△ 14.3	△ 25.0	△ 34.8
5. 仕入(原材料)価格	64.3	25.0	80.0	64.2	25.0	66.7
6. 利益	△ 36.4	△ 25.0	△ 35.0	△ 21.5	△ 75.0	△ 45.4
7. 資金繰り	△ 22.1	△ 25.0	△ 15.0	△ 21.4	0.0	△ 25.8
8. 3ヶ月先の見通し	△ 31.4	△ 12.5	△ 35.0	△ 26.2	25.0	△ 39.3

### <DIとは?>

DIとは、「良い」と回答した企業の割合 - 「悪い」と回答した企業の割合を算出したもので、算出したDIの数値は大きい(プラスになる)ほど景気が良くなっていると判断されます。(※仕入価格以外)

※仕入価格のDI値は、マイナスとなる事が理想だが、プラスになっても価格転嫁が適正に行われ、利益が増加していれば問題ないと考えられます。

### 【例】

売上DIの算出方法:集計結果 ①上昇した 16.9% ②変化なし 45.8% ③減少した 37.3% ⇒  
① - ③(16.9-37.3)=△20.4 となります。

仕入DIの算出方法:集計結果 ①上昇した 71.1% ②変化なし 25.3% ③減少した 3.6% ⇒  
① - ③(71.1-3.6)=67.5 となります。

## 【アンケート結果(全業種)の概要】 ※前ページの集計に対するコメント

<景況感> 前回の統計(次ページ「前回調査からの推移」参照)より 3.9 ポイント減と景気の持ち直しが感じられなかった。また、建設業で 10.6 ポイント、卸売業で 25.0 ポイント増となったが、小売業で 20.0 ポイント、サービス業で 10.9 ポイント減となり業種間で大きな差が表れている

<売上> サービス業で△27.7 ポイントと全業種の中で減少割合が最も多くなっている中で小売業は 5.0 と前回より 32.2 ポイント増となった。

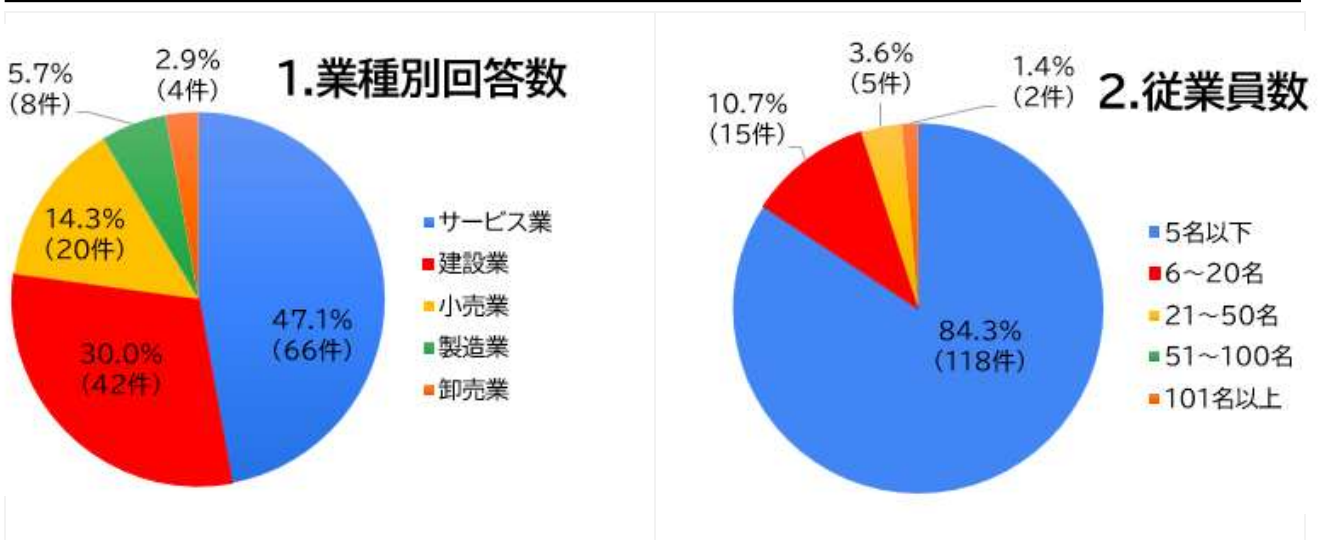
<仕入(原材料)価格> 全業種で軒並み高い数値となっており、依然、仕入・原材料価格の高騰が収まらず、多くの事業所の経営に影響を及ぼしている。

<利益> 建設業で前回の統計から 23.0 ポイント改善がみられたものの、仕入・原材料価格の高騰の影響からか卸売業で利益が 25.0 ポイント減少している。

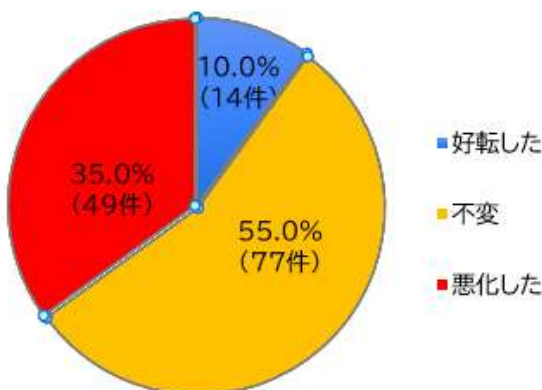
<資金繰り> 製造業では前回よりも 41.7 ポイント改善し、全業種の平均は前回の調査よりも 3.3 ポイント改善した。

<3ヶ月後の見通し> 建設業、サービス業では前回の調査よりも悪化し、全業種でも 11.7 ポイント減少しており厳しい状況が予想される。

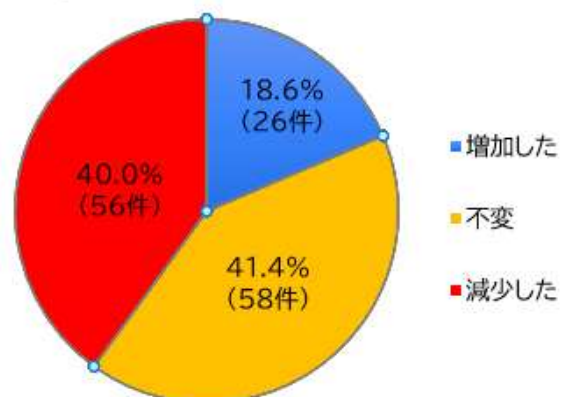
## 【アンケート結果(全業種)の詳細】

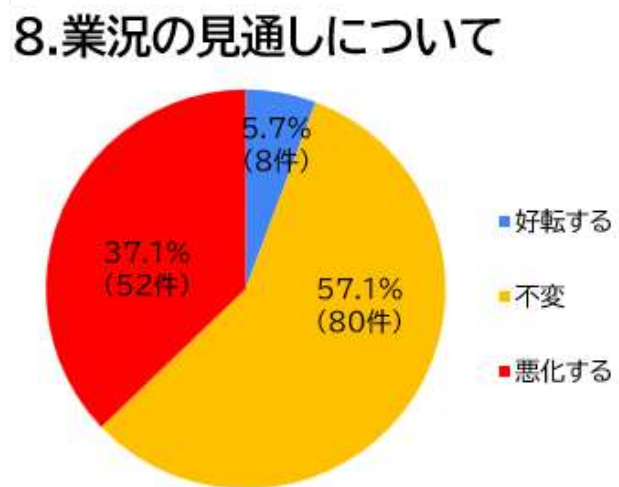
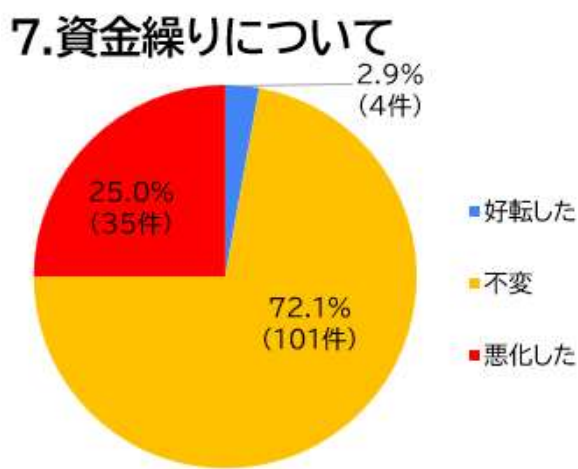
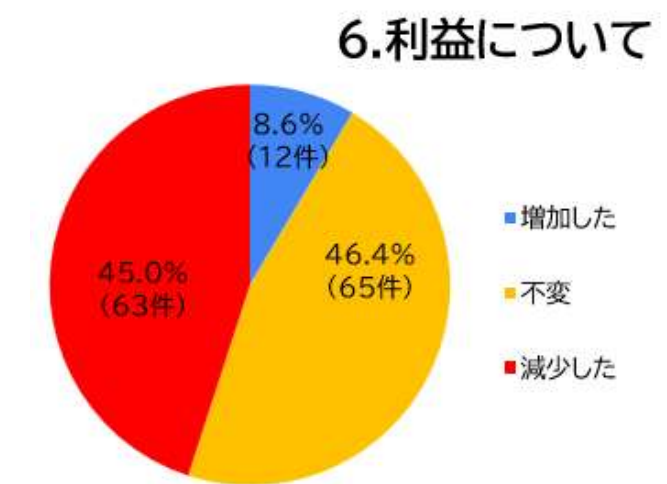
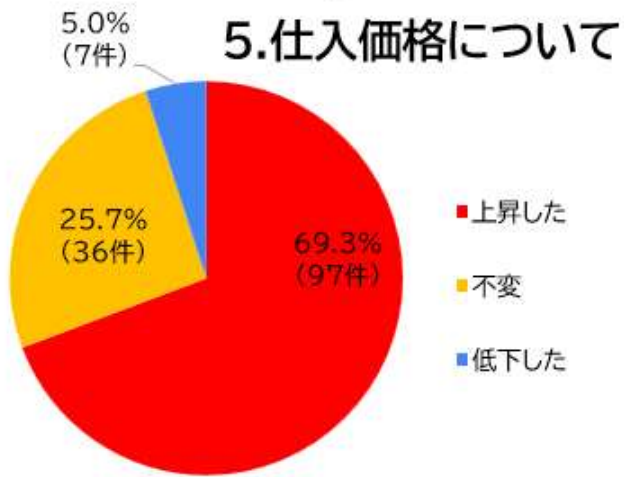


### 3. 景況感について



### 4. 売上について

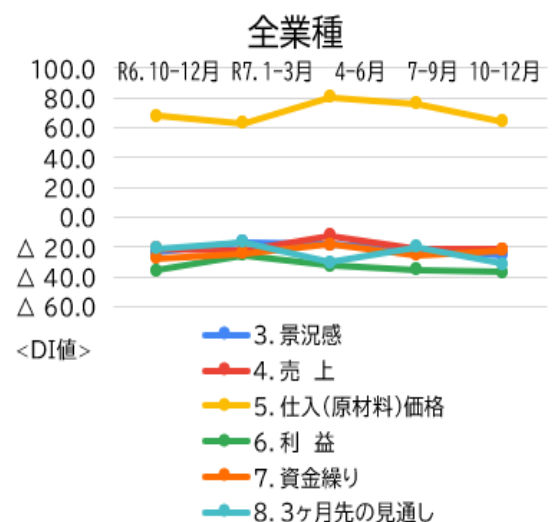




## 【前回調査からの推移】

[全体の概要]

項目\業種・期間	全業種				
	R6.10-12月	R7.1-3月	4-6月	7-9月	10-12月
3. 景況感	△ 23.4	△ 16.7	△ 18.0	△ 21.1	△ 25.0
4. 売上	△ 21.0	△ 22.6	△ 12.0	△ 21.1	△ 21.4
5. 仕入(原材料)価格	67.9	63.1	80.7	76.1	64.3
6. 利益	△ 35.8	△ 25.0	△ 32.5	△ 35.2	△ 36.4
7. 資金繰り	△ 27.2	△ 23.9	△ 18.1	△ 25.4	△ 22.1
8. 3ヶ月先の見通し	△ 21.0	△ 16.7	△ 30.2	△ 19.7	△ 31.4

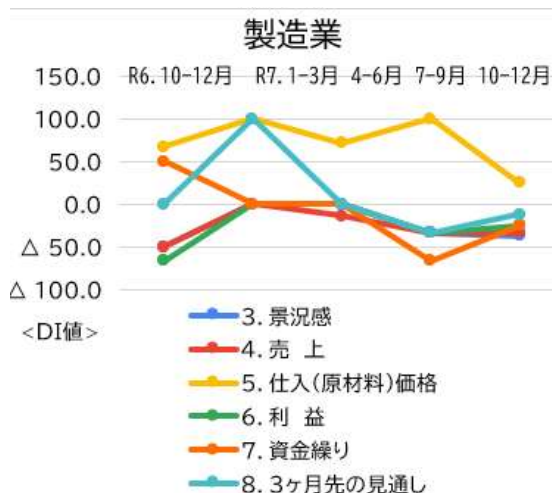


前回の結果と比べ全体的に動きは小さいが、仕入原材料価格の上昇は依然として続いており、3ヶ月後の見通しは11.7ポイント悪化しており、事業所においては今後も厳しい状況が続くことが予想される。

[製造業の概要]

項目\業種・期間	製造業				
	R6.10-12月	R7.1-3月	4-6月	7-9月	10-12月
3. 景況感	△ 50.0	0.0	0.0	△ 33.4	△ 37.5
4. 売上	△ 50.0	0.0	△ 14.3	△ 33.4	△ 33.4
5. 仕入(原材料)価格	66.7	100.0	71.4	100.0	25.0
6. 利益	△ 66.7	0.0	0.0	△ 33.4	△ 25.0
7. 資金繰り	50.0	0.0	0.0	△ 66.7	△ 25.0
8. 3ヶ月先の見通し	0.0	100.0	0.0	△ 33.3	△ 12.5

製造業では資金繰りに関しては 41.7 ポイント増、3ヶ月先の見通しでは 20.8 ポイント増となっており、持ち直しの動きが一部で見られた。



[小売業の概要]

項目\業種・期間	小売業				
	R6.10-12月	R7.1-3月	4-6月	7-9月	10-12月
3. 景況感	△ 25.0	△ 35.3	△ 15.8	0.0	△ 20.0
4. 売上	△ 15.0	△ 52.9	△ 10.5	△ 27.2	5.0
5. 仕入(原材料)価格	90.0	70.6	84.2	63.6	80.0
6. 利益	△ 25.0	△ 76.5	△ 31.6	△ 27.3	△ 35.0
7. 資金繰り	△ 45.0	△ 58.8	△ 26.3	0.0	△ 15.0
8. 3ヶ月先の見通し	△ 15.0	△ 76.5	△ 42.1	△ 45.5	△ 35.0

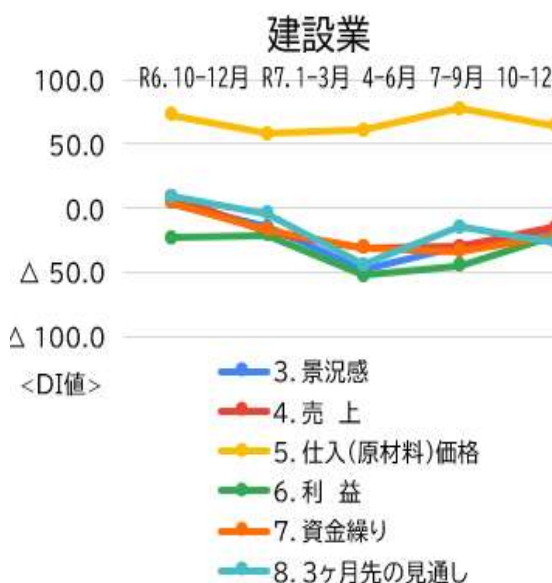
小売業では景況感で 20 ポイント、利益で 7.7 ポイント、資金繰りが 15.0 ポイント減となっており、厳しい状況が予想される。



[建設業の概要]

項目\業種・期間	建設業				
	R6.10-12月	R7.1-3月	4-6月	7-9月	10-12月
3. 景況感	4.5	△ 14.6	△ 47.8	△ 29.6	△ 19.0
4. 売上	9.1	△ 18.8	△ 30.5	△ 29.6	△ 14.3
5. 仕入(原材料)価格	72.7	58.3	60.9	77.8	64.2
6. 利益	△ 22.7	△ 20.8	△ 52.2	△ 44.5	△ 21.5
7. 資金繰り	4.5	△ 16.7	△ 30.4	△ 33.3	△ 21.4
8. 3ヶ月先の見通し	9.1	△ 4.2	△ 43.5	△ 14.8	△ 26.2

建設業では利益が 23.0 ポイント増となっているものの 3ヶ月先の見通しは 11.4 ポイント減となっており、持続的な改善に課題が残る。



【卸売業の概要】

項目\業種・期間	卸売業				
	R6.10-12月	R7.1-3月	4-6月	7-9月	10-12月
3.景況感	△ 33.3	50.0	0.0	△ 50.0	△ 25.0
4.売上	△ 66.7	50.0	100.0	△ 50.0	△ 25.0
5.仕入(原材料)価格	66.7	100.0	100.0	100.0	25.0
6.利益	0.0	100.0	100.0	△ 50.0	△ 75.0
7.資金繰り	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
8.3ヶ月先の見通し	0.0	△ 50.0	0.0	0.0	25.0

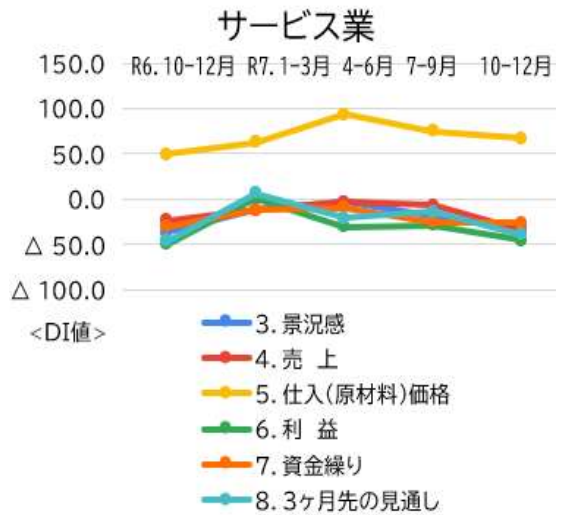
卸売業では景況感、売上、3ヶ月先の見通しが 25.0 ポイント増となっているが、利益が 25.0 ポイント減となっており、改善の兆しが伺えるが、厳しい状況が続いている。



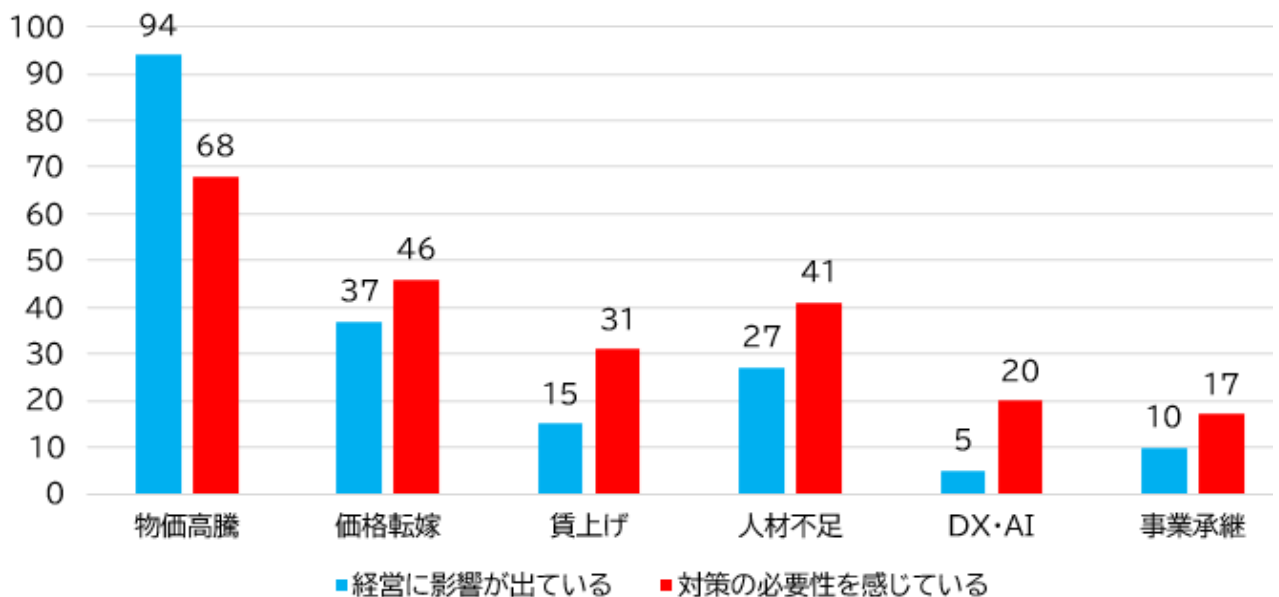
【サービス業の概要】

項目\業種・期間	サービス業				
	R6.10-12月	R7.1-3月	4-6月	7-9月	10-12月
3.景況感	△ 36.7	△ 12.5	△ 3.0	△ 17.9	△ 28.8
4.売上	△ 23.3	△ 12.5	△ 3.1	△ 7.1	△ 34.8
5.仕入(原材料)価格	50.0	62.5	93.9	75.0	66.7
6.利益	△ 50.0	0.0	△ 30.3	△ 28.6	△ 45.4
7.資金繰り	△ 30.0	△ 12.5	△ 9.1	△ 25.0	△ 25.8
8.3ヶ月先の見通し	△ 46.7	6.3	△ 21.2	△ 14.2	△ 39.3

サービス業では売上が 27.7 ポイント、利益が 16.8 ポイント、3ヶ月先の見通しが 25.1 ポイント減となっており、厳しい状況が予想される。



【経営への影響や対策の必要性について】



上記の結果から、多くの事業所にとって物価高騰は最も大きな課題であることがうかがえる。課題を解決するために、コスト削減や価格転嫁などの対策を講じる必要はあるが、人材確保や資金繰りにおいても、小規模事業者にとっても非常に難しい課題となっている。

また、働き方改革においては、収入減や生産性の低下などの問題が考えられ、また、事業承継においては、後継者不足や資金面の課題などが考えられる。

## その他、経営に影響を及ぼしている要因や、お気づきの点やご意見ご要望について

- ・個人経営で健康を害さぬ様に気を付けます。
- ・物価高による来店サイクルの長期化。年間来客の減少による売上悪化。
- ・年を重ねると仕事が少々鈍くなり億劫になるので経営は難しい。
- ・どの産業も人手不足、人件費の高騰で物価があがっている。仕事も少数でやりとげなければならず、ここ数年大変。
- ・公共工事の減少。
- ・物価高、価格転嫁できず、健康の問題あり。
- ・生活に対して色々な物は高騰しているのに、技術料の値上げに対しては今のところ出来ない状況である。
- ・自然減。
- ・物価高騰の影響は建設業界にとっては、かなりの影響です。
- ・女性で自営業を営むにつれて様々な苦勞と困難に当たります。もっと支援があると助かるのが本音です。
- ・材料、機材の値上がり。新築物件が少なくなってきた。
- ・買い物をするお客様の数が少ない、世の中全体的にもっと景気を刺激して景況感を好転して欲しい
- ・とにかく円安では成り立たない。1ドル 150 円では利益が出ない。業績については、売上はしっかりあるけど廃業せざるを得ない。
- ・公共の事業所はなるべく地元業者をお願いすることを考慮して発注することをしてもらいたい。一般競争入札だと他業者に行く可能性があります。地元の業者の経済が回らないと思う。

アンケートにご協力いただき、誠にありがとうございました。

景気動向に関するアンケート調査結果(2026年3月)

実施・編集 神栖市商工会

お問合せ Tel0299-92-5111